

『雨降り花』

咲いて散った私は葉桜
伸びた髪を君は束ねて
夏の初め匂い 6月の雨

願い香る私は押し花
視線先に君を見つけた
姿映す雫 紫陽花の青

誰の為に今日も笑うだろう？
長い髪でほら 涙を隠して

信じた綺麗な青空
あの頃の幼さと君の小さな手
雨が降る夜も朝でも
どうか此処で咲き誇って

ゆれる心 私は蜉蝣
君は水たまりに飛び込み
跳ねて散った雫 忘却の雨

枯れた蕾 孤独を貫く
届くはずのない太陽は
陰り暗く私の心曇らす

誰の為に今日も歌うだろう？
何の為に生きる？君の物語

感傷の雨に打たれて
生きる意味探す旅今ここで叫べ
夢よりも現実(いま)を見つめて
強く生きる一人じゃない

嗚呼、なぜ君は泣かないの？
こんなに止まない雨 それでも
ずぶ濡れで立ち尽くす
悲しくて立ち尽くす
僕の側で君が笑う

絶望と虚無を吹き消し
君のこと連れて行く光指す方へ
幸せと愛を叫ぶ歌
両手広げ胸の中で

抱きしめて強く心咲く一花

